

# 東京江東ロータリークラブ

2024~2025年度 テーマ

ロータリーのマジック

RI 会長 ステファニー A. アーチック  
地区ガバナー 石川 彌八郎

ROTARY PRIDE

～再発見・新発見～  
クラブ会長 大澤 栄一

今日の卓話

次回例会案内

イニシエーションスピーチ

**小嶋 映治** 会員

江東ロータリクラブと江東区観光協会について

東京丸の内ロータリークラブ

**関根 久仁子** 氏

No. **10**

第2916例会  
2024年10月8日号

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

例会報告

9/2 会員数 21 名中 12 名

出席率 60.00%

【訂正出席率】

9/3 訂正出席率 なし



## 会長・幹事報告



●1日(火) 休会

●3日(木) 東3クラブカップ 【千葉CC 野田コース】☆鈴木会員・小野会員・大屋会員・野村会員

●5日(土) 米山奨学生 能と狂言の鑑賞会 【千駄ヶ谷国立能楽堂】☆カンウヒョン君が参加

●8日(火) 理事会・例会 第2回クラブフォーム 月間に因んで卓話【イニシエーションスピーチ 小嶋映治会員】演題【江東ロータリークラブと江東区観光協会について】

☆米山奨学生カンウヒョン君参加予定

☆青少年交換 エードラさん参加予定

●11日(金) 東分区懇親ゴルフ大会 【千葉 CC 野田コース】☆幹事代理：堀幹事・鈴木会員・小野会員・大屋会員が参加

●12日(土) 青少年交換学生 裏千家今日庵 東京道場 ☆エードラさん



## ニコニコボックス



大澤会長：夢職人の皆さん、うちの子2人の面倒を見て頂きありがとうございました！

堀幹事：今日もよろしくお祈いします。

伊藤(三)君：夢職人代表、岩切さんの卓話を楽しみにしております。

鈴木君：今日もよろしくお祈いします。

小嶋君：夢職人岩切理事長、本日よろしくお祈い致します。

小野君：すっかり涼しくなりました。秋を楽しみたいですね。

河西君：岩切さん、卓話楽しみにしています。

大島君：岩切さん、宜しくお祈いします。暑い夏も終わりました。秋ですな食欲と芸術のシーズンです。

熊川君：本日もよろしくお祈いします。

大屋君：岩切さん、本日はよろしくお祈いいたします。

野村君：先日木場のヨーカドーで伊藤海さんに、ばったりお会いしました。お元気そうでした。

合計 43,000 円  
累計 479,000 円

## <委員会報告・その他>

次の例会は、令和6年10月15日(火)お昼通常例会となります。

※欠席される方は、例会前日の12時までに、事務局までお知らせください。

【配布物】・週報 No.10・ロータリーの友 10月号・米山奨学の手引き・RYLA セミナー報告書

【閲覧】・ファミリーハウス通信 101号・たよりウィズ 298号



2024年8月のロータリーレート【1ドル154円】

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21 東京内 TEL : 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日 12時30分~13時30分  
●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21 東京内 TEL : 03(5632)3777 FAX : 03(5632)3737



# 認定 NPO 法人夢職人 岩切 準 様



皆さま、今日は貴重な機会をいただき、有難うございます。認定 NPO 法人夢職人の理事長の岩切準と申します。私たち認定 NPO 法人夢職人は、社会全体で子どもや若者の成長を支えていくための社会教育・社会福祉に関する事業を行っている団体です。江東区亀戸に事務所を構え、今年で 20 周年を迎えました。当方は、法令違反がなく運営組織等が適正であり、一定の要件を満たす公益性の高い団体として東京都より認められ、「認定 NPO 法人」として運営しています。日本には、NPO 法人が約 5 万団体ありますが、「認定 NPO 法人」は、そのうちの 2~3% しかありません。東京東部エリア（江東区、江戸川区、墨田区、葛飾区、足立区）で、主に地域の子どもの若者を対象とした活動を行っている NPO 法人としては、唯一の「認定 NPO 法人」になります。社会教育事業では、主に地域の子どもたちを対象とした体験活動（自然体験や野外活動、スポーツ、レクリエーション、科学・文化・芸術活動など）に取り組んでいます。キッズクラブでは、日帰りや宿泊のキャンプなどの活動を定期的に行い、子どもたちに多様な体験の機会を提供しています。毎月第二土曜日には、都立木場公園で実施している「木場プレーパーク」という活動にも協働しており、子どもたちが自由にのびのび遊べる場所の運営にも携わっています。

今回の卓話の本题である社会福祉事業では、従来の食の支援とは異なる「Table for Kids」という取り組みを行っております。「Table for Kids」は、デジタル地域通貨事業を行っている株式会社フィノバレーと連携し、新型コロナウイルス感染症が拡大していた 2020 年 12 月に開始した取り組みです。

経済的な困難を抱えた子育て家庭に対して、公的証明書の確認も含めた審査を行ったうえで、まちのお店（飲食店・弁当惣菜店・精米店・青果店・精肉店等）の所定のメニューや商品で利用できるデジタルクーポン（ポイント）を付与して継続的な支援を行っています。

デジタルクーポンは、個人や民間企業・団体の皆さまからの寄付金や助成金等をもとに、スマートフォンのアプリを通じて付与されます。支援家庭は、QR コード決済として 1 ポイント単位で利用することができます。現金給付と違い、ポイントで支給することで、目的外に使用されることがなく、それぞれのご家庭のニーズに応じた支援を確実に提供することができます。また、アプリからは、食の支援に加えて、行政・自治体、他の NPO・団体の支援情報も提供しています。

従来の食の支援とは異なり、「お店の営業時間で、いつでも利用ができる」「幅広いお店から様々なメニューが選ぶことができる」「QR コード決済で周囲の目を気にする必要なく利用できる」と、支援家庭から喜びの声をいただいています。

コロナ禍の当時、雇用状況の悪化により、ひとり親家庭や低所得家庭等の経済状況がさらに悪化しており、食の支援が急務な状況でした。現在も、近年の急激な物価高騰により、生活が圧迫されている子育て家庭が多くいらっしゃいます。「Table for Kids」では、現在、年に一回、支援家庭を公募しておりますが、今年では定員に対して 9 倍の応募があり、残念ながら大半のご家庭は、お断りする結果となりました。

「Table for Kids」は、「まちのみんなの力で、子どもの食から支える。」をコンセプトに、社会全体で子どもたちの成長・発達を食から支えていこうという想いから名付けられました。特定の誰かや団体ではなく、多様な方々が様々な形で支援に携わっていただくことで、新たな地域のつながりを生み出し、このような問題に少しでも多くの方に目を向けてもらいたいと考えています。ご支援の形は一つではなく、これまでも地域の企業や団体の皆さまと様々な形で連携をさせていただいております。少しでも多くの困窮家庭を支援できるように尽力して参りますので、ぜひ、東京江東ロータリークラブの皆さまにもお力添えをお願いできれば幸いです。